

令和 7 年度

事業者番号

0042

事業所番号

004202

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	レンゴー株式会社 八潮工場		
事業所所在地	市区町村	八潮市	
	字・地番	大字西袋330番地	
産業分類名（中分類）	14 パルプ・紙・紙加工品製造業		
分類番号（中分類）	14		
事業活動の概要	事業内容	板紙の製造・販売（段ボール原紙、紙管原紙、チップボール）	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。				
	その他ガス	非エネルギー起源CO ₂ ・メタン・一酸化二窒素をそれぞれ10,000t CO ₂ /年以下にする。				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	1,125,675	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	125,075	t-CO ₂	事業所区分	第2区分	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	103,586	114,226	104,334	103,094	104,332

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		186,490	208,184	189,371	187,133	189,927
	前 年 度 比（％）	—	11.6	-9.0	-1.2	1.5
そ の 他 ガ ス	非エネルギー起源CO ₂	5,122	4,438	3,874	3,564	3,882
	メ タ ン	4,149	3,797	4,093	1,307	987
	一 酸 化 二 窒 素	4,712	4,658	4,052	601	991
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六 fluoride					
	三 氟 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		200,473	221,077	201,390	192,605	195,787

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位		0.1957	0.2010	0.1962	0.1980	0.2014
	前 年 度 比（％）	—	2.7	-2.4	0.9	1.7
活 動 規 模 の 指 標	単 位					
生産量	t/年	953,107.23	1,035,536.85	965,353.58	945,113.06	943,113.92

（４）エネルギー起源ＣＯ₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	2020年度は2019年度と比べ生産量が減少している為、エネルギー起源CO ₂ が減少している。						
令和３年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	前年と比べ生産量が増加、またバイオマス発電の稼働率減少が影響して、エネルギー起源CO ₂ が増加した。						
令和４年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	有	
	前年と比べ生産量が減少したことによりエネルギー起源CO ₂ 排出量も減少した。原単位としては工場稼働率が低下したので微増となった。						
令和５年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	令和8年度の第二バイオマス発電設備新設に向けてリニューアル工事中。建設用地確保の為、発電所タービン棟と抄紙建屋の一部を解体し床面積3135.59m ² が減少した。						
令和６年度 (2024年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無	
	前年と比べ生産量が減少したが、バイオマス発電の稼働率減少が影響して、エネルギー起源CO ₂ が増加した。						

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	250,150	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ / 年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	250,150	250,150	250,150	250,150	250,150	1,250,750
	目標削減率の 緩和措置						
	トップレベル認定	トップレベル	トップレベル	トップレベル	トップレベル	トップレベル	
	目標削減率(B)	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	
	排出上限量 ($C = \Sigma A - D$)						1,125,675
	排出削減目標量 ($D = \Sigma (A \times B)$)						125,075
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	186,490	208,184	189,371	187,133	189,927	961,105
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	25.45%	16.78%	24.30%	25.19%	24.07%	—
	排出削減量 ($G = A - E$)	63,660	41,966	60,779	63,017	60,223	289,645
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済	実施済	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	490200	その他	49_その他の削減対策	太陽光発電導入	R1以前	R1以前	66,881.0
2	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機真空動力削減	R1以前	R1以前	179.0
3	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機二次スクリーン改造	R5	R5	262.0
4	490200	その他	49_その他の削減対策	太陽光発電増設	R6	R6	140.0
5	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	工業用水ポンプ更新による動力削減	R6	R6	310.0
6	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用 に関する措置	1号抄紙機排熱回収装置更新	R6	R6	120.0
7	340500	発電専用設備、コージェネレーション設備	34_熱の動力等への 変換の合理化に 関する措置	第二バイオマスボイラ発電設備導入	R7以降		1,390.0
8	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	7号抄紙機真空動力削減	R7以降		25,000.0
9	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	5号抄紙機真空動力削減	R7以降		900.0
10	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用 に関する措置	7号抄紙機排熱回収装置更新	R7以降		600.0
11	320200	ボイラー、工業炉、蒸気系統、	32_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	1号抄紙機プレス改造	R7以降		880.0
12	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1号抄紙機パルパー能力増強	R7以降		1,750.0
13	320400	熱交換器等	32_廃熱の回収利用 に関する措置	1号抄紙機排熱回収装置更新	R7以降		700.0
14	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	古紙原水ポンプ更新	R7以降		30.0
15	370700	電動力応用 設備、電気加熱設備等	37_電気の動力・熱等 への変換の合理化に 関する措置	1調整コンプレッサー更新	R7以降		50.0

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

